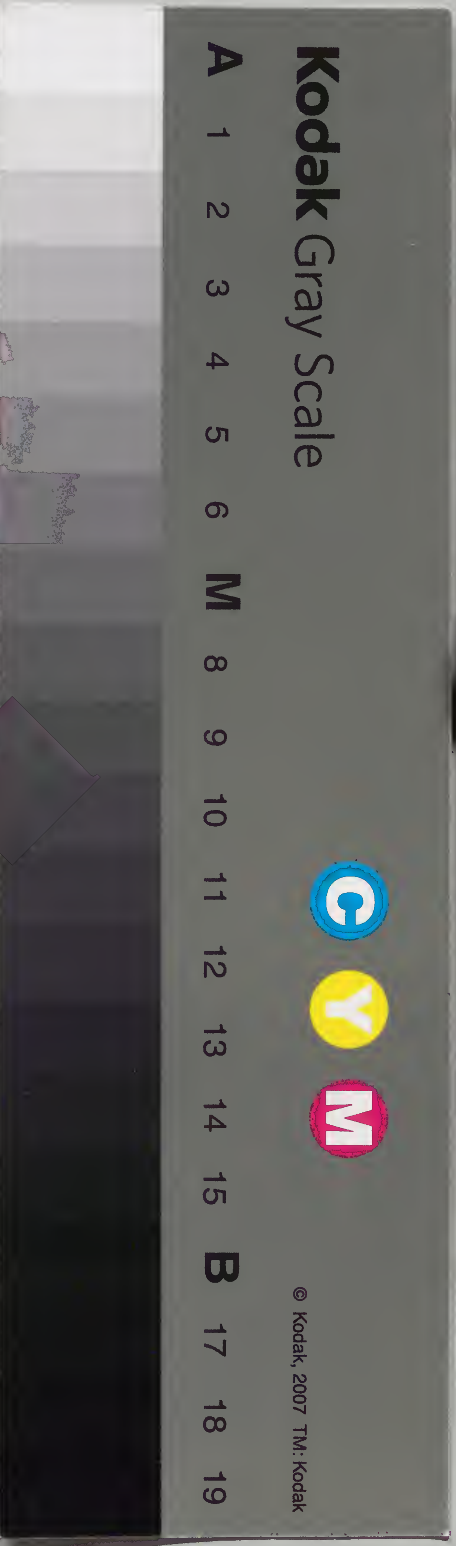


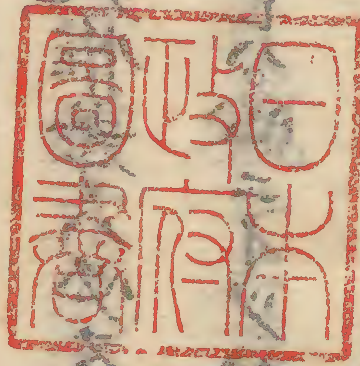
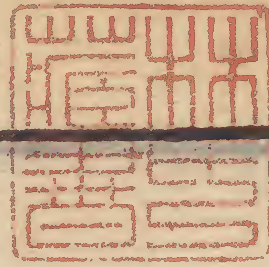
和書門類

和書門類		二四六五三	六六	二八
和書門類		二四六五三	六六	二八
和書門類		二四六五三	六六	二八
和書門類		二四六五三	六六	二八

庫文閣内	和書	二四六五三	二八
庫文閣内	和書	二四六五三	二八
庫文閣内	和書	二四六五三	二八
庫文閣内	和書	二四六五三	二八

内閣文庫	
番號	和 24653
冊數	2 (2)
函號	191 278





淺草文庫

保孝行章第六

夫惟孝者必貴於忠。若思孝而忘忠，猶求福而棄天。忠苟不行

所率由非其道。忠不居心，動皆邪僻。是以忠不及之而

失其守。自貽伊罰，匪惟危身辱及親也。既失

又失，故君子行其孝必先以忠竭其忠則福

於孝

禄至矣。忠則得福。禄則榮親。故得盡愛敬之心以養其

親。施及於人。守忠之道。衆善收歸。此之謂保

孝行。以忠之故。得保于孝。詩云。孝子不匱。永錫爾類。考

行。孝施於莊公。君子善之。此之謂也。

此章云。忠アル人ハ孝行ヲタモツ夏ラズリ。

夫惟孝ハ必ス忠アルヲ貴フ。忠ノ道ヲ行ナハ

サレハ。心ニイツハリアリ。其シタカヒ用エル処。道ニ

アラス。然ルユヘニ忠及ハサレハ。心ノモリヲ失フ

ハコトヲシモル夏ナケレハ。其身ヲ危スルノミナ

ラス。親ニモ辱ラカシムル夏アリ。故ニ君子

ハ孝行ナラント欲セハ。必ニツ忠ヲ以ス。親ニツ

カヘテハコトアルヲ忠ト云フ。其忠ヲツツテ。孝

アルトキハ。福禄イタル。忠ナケレハ。心ヨコシ

ニヒカニテ。孝ヲ行ナフ夏アタハス。忠アリ

テ。孝ヲ行ナハ。其名ノ譽レカクシナク。其身

モサカヘテ。親ヲモヨロコバシムルユヘニ心ノ及フ

ホト愛敬ヲツクシテヨク親ヲヤシナス如此十
シ人ニナナラヒシタヒテオク其親ヲヤシナラ
ニコトヲツクシテ孝行ナリコレヲホトコシ人
ニ及フト云ナリ忠孝相ツナハル養ノ道ノ
至極ナリコレヲ孝行ヲタモツト云フ詩ノ大
雅ニ孝子不匱永錫爾類ト云ヘル孝行
ノ子ハトモシカルヘカラス天理ニシタカフニ
必ス永クヨキサヒハイラトヨリタニフト云フ

不義ナリ又其身孝ノ心フカケレハ同シ類久
入ツレニナラヒテ孝子トナルヲ云フトノ義モ
アリ鄭ノ莊公其母ト云ヘアリテ久シク對
面セス類考叔ト云ル大夫莊公ノ前ニテ
賀羹ヲタヘハリシヲ歸テ巴レカ母ニタヘサセシ
用テ申スニヨリテ莊公感動シテ其母ト申
ナシリセラレシモ此詩ノ心ニ合ヘリ

廣爲國章第十一

明主之為國也任於正去於邪任正則君子道長去邪則小人

道消邪則不忠忠則必正忠則不邪有正然後

用其能能而無正則邪是故師保道德股肱

賢良元為股凱為肱內睦以文外威以武教

莫若文威被服禮樂隄防政刑禮樂德之則不

之要不可破壞故得大化興行蠻夷率服化行文備

人臣和悅邦國平康禮樂善而此君能任臣

下忠上信之所致也臣在忠於君詩云濟濟

象士文王以寧成夏非一木之末為國資庶臣之九

此章六國ヲオサムルハ忠ヲ用ユヨリヒロムル

コトヲノヘタリ眞實ハ負身ヨリテ實ニキレハ

明君ノ國ヲ治ムルハ正シキ人ニ政ヲカセ邪ナ

ル者ヲ退テ用ヒス邪ナレハ忠アラス忠ナレハ

必タシタトヒ才能アリトモ邪心アル者ヲ用

ユヘカラス正クシテ能アル者ヲ用ユヘシ故ニ道

徳アル人ヲ師保トシ賢良ノ人ヲ股肱トス師

忠正

保ハ君ノ師トナリモリトナルホトノ道德アル人
シ云フ周公召公ノ成王ノ師保トナルノ類コレナ
リ賢良ハサカレク才能アル人ナリ舜ノ十六人
ノ賢臣シ奉用ラルノ類ナリ道德アル人シ
師保トシ賢良ノ人シ股肱トシテ國ヲオサスル
ノタスケトス道德ハ賢良ヨリモ貴キユヘ師保
ノコトクニアカメ賢良ハ其身ノ股肱ノコトクモ
右ラハナレス近ツクルナリ如此ノ人ヲ用テ内ニハ

文德ヲ以テキレヘテ人ヲムツミシフニ外ニ武
備ヲ設テ威シ人ニシメシ札樂ハ一月モナクシ
ハアルヘカラサルモノナク衣類ノコトク身ヲハナルヘ
カラス法令刑罰ハ悪人ヲイニシムルモノナクハ
水ヲツセク堤ノコトクニヤフレクツレサルヤウニス
ニ如此トシハ上ノ德化大ニ行ナハレテ蛮夷ノ
類下テモシタカヒナヒキモロクノ臣ヤハラキ
ヨロコヒテ國家平ニヤスシコレ明君ヨリ賢臣

臣ヲエラヒテ政ヲ任セ臣ハ忠之上ニツク君ハ
ニコトアリテ下ヲ疑ハサルノレルニナリ詩ノ
大雅ニ濟々多士文王以寧ト云ルハ文王ヨ
キ士ヲ多ク用ヒタマフニ心ヤスク其國ヲ升
マルト云フ義ナリ濟々トハ多キ度ナリ文
王ノ國ヲ治ルアマタノ賢臣ヲ得テ其タス
ケトスタトハ大キナル家ヲ造ラントテハア
マタノ材木ヲアツヌテ或ハ棟或ハ椽或ハ柱

ナトシレクニ見ハカラヒテ用ズルカコト多忠ア
ル人ヲアマタ求得テシレクノ役ニ奉用テ國

廣至理章第十二

古者聖人以天下之耳目為視聽用天下之視聽則無不見
也聞天下之心為心順物之情不使己欲端旒而自化居
成而不有斯可謂至理也已矣默化元運其理如此王
者思於至理其遠乎哉道無遠近無為而天

下自清有不疑而天下自信不疑於物不

私而天下自公不私於物賤珍則人去貪貪

有珍珍徹徹後則人從儉儉用實則人

去貪貪息息崇讓則人不爭見遜故得人

不偽見實崇讓則人不爭見遜故得人

心和平化行天下淳質心易樂其生保其壽

咸咸無無天天折折優游優游聖德以為自然之至也

與與天天地地等等詩云不識不知順帝之則不違其則

此章ニ國ヲ治ル至極ノ度ヲ云ヒ口メ介。至

理トハ至極ノ治ト云フコ、口ナリ。理ハ治ノ字

ト通シ用元例多シ。

古者聖人ハ天下ノ耳ヲ以テ已カ耳トシ天

下ノ目ヲ以テ已カ目トス故ニ視聽コトヒ口

シ故ニ天下ノ人ノ心ノコトクシタカニ用ユルユ

ヘニ何ノ苦勞モナク冠裝束タシクシテ尊位

ニアレハ人カノツカラ其德ニ化ス。太平ノ功業

忠臣

四三

ノイタス処トセスコレヲ至極ノ治ト云フヘシ
王者久人至極ノ治ヲオサントスモ其道
遠カルヘカラスモノツカラ遠近ニヒロミルヘシ至
極ノ治世ニ何ノスルワサモナケレトモ天下
モノツカラ清ク静ナリ人ヲ疑フコトナケル
天下モノツカラ信アリ私ナケレハ天下モノ
ツカラ公ナリメツラシキ財寶ヲ多クトハサレ
ハ人モノツカラ貪ルコトヲヤム後ヲスツルハ

人オノツカラ儉約ナリ眞實ナレハ人モノツ
カライツハルコトアタハス物ヲ讓ル夏ヲマツ
トハ人モノツカラアラツハス如此ナレハ人ノ心
モノツカラ和キ平ニシテ天下スナホニナカサ
ル者ナク其分ヒン生涯ヲタクシニ壽命モナ
カクタモチテユタカニ聖徳ノ内ニ遊フコトヲ得
タリニ皆忠道自然ノ至リナリ天地モノ
コトノ外ハナシ人忠アレハ天地ノ誠ト相ヒレ

故ニ聖人至極ノ治ハ天地ト共ニ自然ナリ。
詩ノ大雅ニ示識不知順帝之則ト云ル帝
徳天ノコトクニシテ天下タル者其然ルユヘシ知
ラス。又帝ノ則ニシタカフニト云フ義ナリ。
帝之則トハ天子ノ徳ヲ云ナリ。

揚聖章第十三

君徳聖明忠臣以榮依己獲君徳不足忠臣以奉斯君辱恥躬不足則補之聖明則揚之古之道能為臣

也。補君之闕揚君之休。是以前有德谷録歌

之文王之道周公頌之宣王中興吉甫詠之

君上行仁履之道。故君子臣於盛明之時。

下有贊詠之美也。

必揚之盛徳流滿天下傳於後世其忠矣夫。
君有盛徳而臣不揚使

此章ニ君ノ徳ヲ忠アル臣下云ヒロメテス

ハスコトヲシルセリ。

君ノ徳聖明ナル忠アル臣モトモニメテタク升

カヘ君ノ徳不足ナレハ忠アル臣ハツカシラ
 ル治世ニモ乱世ニモ忠臣ハアルヘシ。治世ニ忠
 臣用ヒラル、ユヘニ官位ニモス、ニ俸禄モユタ
 カニテ榮ユヘシ。乱世ニ忠臣用ヒラレス。或ハ殺
 シサレ、或ハ退ケラレシ。遠流セララル、ユヘニハツカシメ
 ラルト云リ。忠アル臣ハ君ノ不足ナレハカケタル
 補ヒ君ノ聖明ナレハコレヲノヘヒロメテ君ノ名
 ノ揚ルヤツニイタス。ハ言ノ忠臣タル人ノ道ナリ。

大略シカルユヘニ虞舜ノ徳ヲハ魯繇歌作テホメ
 タリ。文王ノ道ヲハ周公頌ヲノヘテアラハス。周
 ノ宣王中興ノ美アルハ其臣尹吉甫詩ヲ賦
 シテヨロズリ。故ニ君子タル人。聖明ハ無臣下タ
 レハ必ス君ノ盛ナル徳ヲヒロクアケテ天下ヲ
 レツタヘ後ノ世ニテモゾルヤツニイタセリ。コレヲ
 忠ト云ナリ。若君ノ徳盛シナレトモ臣下ノ人
 ナニコレヲ世ノ年コヘモナキハ忠ノ道ノカケタルナ

ルヘシ若又君ノ徳不足ナルヲ補フ心モナク
此ルコトモナキコトヲ詩作り文作りテ示メシヤ
シテ君ノ心ヲシラコラシメ已カ名ヲアクルヤウニ
ルハ忠ニハアラスレテハ人ナルベシ此章
ノコトクダラサルヲ補ヒヨキヲハノベヒロムラ
忠臣ト云フヘキナリ
辨忠章第十四
大哉忠之爲用也忠ヲ以テ教ヲスギハシラ施之於邇則可以
保家邦以有施之於遠則可以極天地以無
故明主爲國必先辨忠爲國藉之忠者臣節
君子之言忠而不佞小人言佞而似忠而非
聞之者鮮不惑矣忠言逆志必求諸道
夫忠而能仁則國德彰爲君無愛忠而能知則國
政舉忠而能勇則國難清爲君謀忠故雖有
其能必由忠而成也忠而有能仁而不忠則
私其恩仁愈多而知而不忠則文其詐知愈

大哉忠之爲用也忠ヲ以テ教ヲスギハシラ施之於邇則可以
保家邦以有施之於遠則可以極天地以無
故明主爲國必先辨忠爲國藉之忠者臣節
君子之言忠而不佞小人言佞而似忠而非
聞之者鮮不惑矣忠言逆志必求諸道
夫忠而能仁則國德彰爲君無愛忠而能知則國
政舉忠而能勇則國難清爲君謀忠故雖有
其能必由忠而成也忠而有能仁而不忠則
私其恩仁愈多而知而不忠則文其詐知愈

許愈シヨ勇ユウ而不レ忠シ則チ疑シ其ノ亂ル勇愈多ク而レ是レ雖モ有リ

其能ヲ以テ不レ忠シ而レ敗ス也ト能ク而レ無ク忠シ此ノ三レ者ハ不レ可ク

不レ辨セ也ト書ク云フ旌シ別シ淑ク忒ク其ノ謂ハ是レ乎ト善ク惡ク既ニ別レ任シ使シ不レ謬ラ偽ニ

夫レ此ノ章ニ云フ君トシテ公臣ノ忠アル其ノ莫クヲヨクキ

聞ク之ハ知ルヘキコトト云ヘリト

忠ノ用タル莫ク大ナルカト近ニホトコストキハ

始メ家ヲモ國ヲモタモツヘシト遠キニホトコストキハ

天地ヲモキハムヘシト故ニ明王ノ國ヲ治ルニハ

必スマツ忠アルコトトラワキニヘ知ルヘシト君子タ

ル人ノ云フコトハマコトニタハシクレテ佞ナラス

コレヲ忠ト云フ小人ノ云フコトハ佞ニレテ忠ニ

アラスイツハリラカサリテマコトラシク云フユヘニ

忠言ニ似タレトモ皆偽ナリコレヲ子レケ人

ト云フ忠言ハ君ノ志ニ逆フコト多シ然レトモ

道ニカナフテ云フコトナレハタトヒ君ノ心ニカ

ナハストモ理ニカナハ、忠ナリト知テシタ

カフヘシ倭人ノ云フコトハ君ノ心ニカナフヤウ
ニ申スユヘシタカヒヤスシ然レトモ非道ナラ
ハ退クヘシ君明ナラサレハ此忠ト倭トヲ聞
ワクルコトヘシニレテ或ハ忠言ヲイトヒ倭言
ニ迷フコト多シ忠言ハ耳ニサカヒ良藥ハ口
ニ苦シト云フモ此心ナリサレハ臣下ノ忠ヲ
リテヨク仁アル人ヲ用ユハ國ノ徳アラハル
忠アリテヨク智アル人ヲ用ユハ國ノ政

任せテヨシ忠アリテヨク勇アル人ヲ用ユハ
國ノ亂ラシツム然レハ智仁勇ノ能アリトイ
ヘトモ忠ヨリ出シハ其才能成就スヘシタトヒ
人ヲ愛スルコトロアリサモ忠ナクハ政ニ私ア
リテ已カヨシニアル者ヲ取立テ恩ヲアタユル
度アルヘシコレハ仁ニ似テ仁ニアラス又智アリ
トモ忠ナクハ鳥ヲ鷺トアラソフテ其偽ヲ
カサルヘシコレハ智ニ似テ智ニアラス又勇ア

リトモ忠アラサレハ己カ一心ノケチケニホコリ
 テ敵ヲ侮リ始終ソワキニモナクス公ニ
 死スレキ処ニテ死シテ敗軍ス己ハ勇ニ似
 テ勇ニアラス又アルヒハ勇アル者敵ニ勝テ
 勢ソヨクナレハ逆心キサシテ亂止コトナシ然
 レハ智仁勇モ忠ヨリ出サ六國ノ敗トナル此
 三ツノモノ忠ヨリ出ルカ偽ヨリ出ルカヨクワキニ
 フヘキナリ書ニ旌別淑慝ト云ヘル公諸臣ノヨ

キトアレキトヲヨク見知リワカチテ奉行役
 入ナレテ目キハシカハヌヤウニスヘシト云
 フノ義ナリ

忠諫章第十五

忠臣之事君也莫先於諫糾過正徳下能言之
 上能聽之則王道光矣上能聽下不能言則
 不能聽則虛其言言聽俱能諫於未形者上
 則君臣諫合則其道光明也先事而止諫於已彰者次也出未及施諫
 也君遠不聞改之非後

於既行者下也行而能改違而不諫則非忠
 臣從君所昏夫諫始於順辭中於抗議終於
 死節以成君休寧社稷議抗議不從則繼
 之以死其能使君改過書云木從繩則正后
 為美社稷之安固也忠臣
 從諫則聖忠臣可以正主也

忠臣ノ君ニ仕ミツルハ諫ヲ以テ先トス臣下ヨ
 ク諫テ君ヨク其コトヲ聞トキハ王道テリ君
 ノ惡イマタアラハレサル先ニ諫メテトムルハ上

ナリ惡クニテニアラハレテ諫ムルハ其次ナリ惡
 ステニ行ナハレテ後ニ諫ムルハ下ナリ然レトモ
 諫サルヨリハルカニミサレリ僻事ト知テモ怒
 ニラレシコトヲ恐テ身ヲヨクテ諫サル者ハ忠臣
 ニアララス忠臣ノ始ハマツコトハヤハラカニツク
 ト教訓シテ君ノ怒ナキヤウニスヘシツレニテ
 許容ナクシハタトヒ心ニサカフトモ是非善惡ノ
 コトハリヲ言止シ幾度モ問答シテアラソフ

ヘシツレニテモ許容ナクシハ身ヲ捨テタトヒ
死罪ニ処セラレ、トモ節義ヲ守リテ変スヘ
カラス死ヲカヘリテスレテ諫ムルホトナラタ
トヒ一旦ノ怒リニアフテ殺サル、死後ニナリ
トモ君モシ眞實ノ忠ヲサナリテアヤキヲア
ラタメラレハ君ノタタニモヨロシクシテ危キ國モ
安カルヘシヨレ忠臣ノ本望ナリ。書ニ木從繩則正
后從諫則聖ト云ヘルハ材木ノ墨繩ニ從テ正カ

ニヒツミナクタ、シクナルコトク。君モ臣ノ諫ニ
シタカヘハ聖ナリト云フ義ナリ。コレハ傳説ノ
其君高宗へ言上スル格言ナリ。君臣トモニ
此文ノコトヲ知ラスンハアルヘカラス。唐ノ太
宗常ニ魏徵カ諫ヲ聞テ。汝ハ忠臣ナリト
宣ケル。魏徵ハ良臣タラシコトヲ子カス。忠
臣タラシコトヲ子カハス。臣ヨク諫ヲ申テ天下
ヲ治ル。良臣ト云フ。君諫メラキカスレテ。

臣節義ニ死スルヲ忠臣ト云フ。願クハ君ヲ
シテ用テ良臣トスヘシワカ諫ヲ聞スハ忠
臣トナリテ死スヘシト云リ。魏徵カ此一
言ニヨシハ忠臣トハ無道ノ君ヲ諫メテ死スル
ニシテ云フト心得ヘキカ左様ニアラス
ワケテ云トキハ良臣忠臣ノ差別モアル
ヘケレトモ合テクハ眞實ノ心アルヲ忠
ト云ヘハ治世ニモ乱世ニモ忠臣アルヘシ
必シモ諫テ死シ義ヲ守テ死ス

クモノシ忠臣トカキルニハアラズ忠臣ト云フ
谷内ニ良臣モユモルヘシ伊尹周公ノ下ク君ヲモ
庶立テ天下ヲ治メテ太平ナラシムルモ忠臣
ナリシレクノ官職ニ任シテ松ナクツトムルモ忠
臣ナリ北平カロトク諫テ死ヌルモ忠臣ナリ或
ハ難ラソニテ君ノ命ニカハリテ死ヌルモ忠臣
ナリニ君ニ仕ヘス義ヲ守ルモ忠臣ナリ忠ノ
道シテナルコト此忠經ヲ見テ知ルヘシ

證應章第十六

惟天監人善惡必應為善則吉為惡則凶善莫大於作忠

百行大善無忠皆忘惡莫大於不忠大惡之惡為逆者殃忠則福

祿至焉不忠則刑罰加焉忠則善播聞未有

兆未有不刑君子守道所以長守其休小人不常

所以自陷其咎天意本休君子知而順之天意無咎小人求而取之休

咎之徵也不亦明哉天監孔明書云作善降

之百祥作不善降之百殃禍福無門惟人自召

此章ニ忠アルモノハ福アリ不忠ナルモノハ

禍ニアフコトヲ述タリ

天ノ明ナルコトハ鑑ノ如ナレハ人ノ善惡必ス

カクシナシカホヨキモノトニクキモノトノ姿

ノ鑑ニウツルカ如シ善ハ忠ヲナスヨリ大ヒト

ル事ニ惡ハ不忠ヨリ大ヒナルハナシ忠アルモノハ

君ヨク用ルニハ福祿ヲ受テ繁昌ス不忠

ナルモノハ惡事ヲナスニ刑罰ニ逢コトイテ

五十五
レルニ故ニ君子ノ忠道ヲ守ルハ長ク多キ福
ヲ守ルユヘシナリ小人ノ常ヲ背ヒテ非義ヲ
ナスハ自ラ咎ニ逢フユエシナリ是善ナルモノ
ハ福アリ惡ナルモノハ咎メラルノレシレシ明ナリ
天道私ナシ君子ハ天道ヲ知リテ理ニシタ
カフテ忠アルモノ如此小人ハ天道ニ背ヒテ
不忠ナルモノ自禍ニ陷ルモノナリ書ニ善シ
之作セハ百ノ祥シ降シ不善ヲ作セハ百ノ殃

五十六
ヲ降スト云ハ是ナリ殷ノ湯王ノ孫大甲即
位始伊尹此ノ言ヲ述テ教訓シ奉レリ禍
禍ハ無門惟人自召ト云ヘル語モ此ノ心ニ同シ
禍ト福ト門^カエラニセス善ヲナス人ノ門ハ福
入ルヘシ惡ヲナスモノ門ハ禍入ヘシ貴賤高
下ニカノルヘカラス人ノ所行ニヨリテ入リ來ル
モノ其ノ身ノ心次第ニヨリテ子キヨフモノナリ子
人萬人ノ内ニ若シ惡ヲナシテモ其身禍ヲ免

善人毛福ニ逢サルコトモアトモ或ハ子孫或
ハ後世ニテ考ヘハ善惡ニヨリテ必ス禍福ノ
ルシアルヘシ我意ニ任セテ天道ヲ侮ルヘカラス
身ノ不幸ニ逢フトモ天道ヲ怨ムヘカラス

報國章第十七

為人臣者官於君臣之官禄先後光慶皆君之
德光格祖考不思報國豈忠也哉忠則必報
君子有無禄而益君無有禄而已者也君臨

誰方不為臣食土之毛皆銜君德昏衢迷於日
月君子之懷帝恩故偃息山林有能審國况
荷君禄位而無聞焉報國之道有四一曰貢賢進得其
端二曰獻猷納當其善三曰立功功吾其膺
四曰興利殖致其厚賢者國之幹幹可立猷者
國之規規可執功者國之將將可禦利者國之用
用可給是皆報國之道惟其能而行之各以
於國道詩云無言不酬無德不報况忠臣之
斯廣矣凡人之間一言一德猶必報君
於國乎巨之義恩莫重焉如何忘也

此章ニ忠臣ノ君恩ヲ報スルコトヲ述タリ。
人ノ臣タルモノハ君ヨリ官禄ヲ受スト云コト
ナリ高官ニシテホリ大禄ヲ受ケテ先祖ノ名ヲ
固モアケ子孫ニテモサカユルハ皆君ノ恩徳ナリ
然ルレバ此ノ恩徳ヲ報ヒシコトヲ思ハサレハ忠
ニアラス君子タル人ハタテ山林ニ引籠リテ
君ノ禄ヲ受スト云ヘトモ君ノ爲ニ益アラシキ
時ニ忘レズ天下ハ皆天子ノ土地ナレハ天下ニス

メルモノハ天子ノ恩ヲ忘ルヘカラス諸侯ハ一國
主ナレバ其ノ領内ニスメルモノ皆國王ノ惠ニシテ
忘ルヘカラス世乱ルレトキハ父子相離レ夫婦
兄弟モ一所ニスミカタニ幸ニ治世ニ逢テ一
家一門心安ク起臥スルハ皆上ノ恩ナレハ禄ヲ
受ストモ分際相應ニ恩ヲ報ユル心アルヘシ况
ヤ微禄小官ニテモ受ケテ父母妻子ヲクモク
ムモ報恩ノ志モナク徒ラ三月日ヲククルヘケン

ヤ大臣タル人之國恩ニ報ル道四ツアリ。一ツニ公
賢オアル人ヲ舉ケス。又テ。官職ニ任セシメニ
ハ國ヲ治ルハカキリ。二ツニ。勲功ヲ立シコ
トヲ思ヒ。四ツニ。國ノ爲ニ利ニナルヘキ事ヲ興ス。賢
オシ舉ケレハ其人國ノ爲ニ幹トナル。幹トハ家
ノ内ノ柱ノ如ク。國ノメアヲトナル義ナリ。其カキリコ
トヲ獻ストハ。國ノ政ヲ正クレテ。邪ナラサルヤウニト
ハカラフコトナリ。功ヲ立トハ。軍將トナリテ。敵ヲ

フセキ。國ノ守トナル義ナリ。利ヲ興ストハ。或
ハ要害ノ城ヲキツキ。或ハ水難ノ爲ニ堤ヲツ
キ。或ハ民ヲ愛レテ。民戸ノ數ニキワクマツニイ
タシ。或ハ諸方ヨリ商人職人來リ聚リテ。萬
事不自由ナラサルヤウニハカラフヒ。或ハイラサ
ル費ス。ハフキ驕ヲマヌテ。儉約ヲ用ヒ。上下ト
モニ富ミ榮ルヤウニスルノ類。皆國ノ利ナリ。如
此ナレハ君ノ心安クシテ。不足ナルコトナレ。利ハ

ヨロシク義ニカナフヲ云利欲ニカハリテ民ヲ
苦ヌ年貢ヲ多ク取リテ上ハカク富テ下ヲ之
クスルハ國ノ利ニアラス却テ禍ヲマシクベシ
利ノ字ニ心ヲツクヘシ何事ニテモ國ノ爲ニ用ニ
タナテワキヘサハラヌトテ利ト云ナリ此四ツノ
モノハ皆國恩ヲ報ルノ道ナリ生レツキ忠アリテ
才能アル人是ヲ行フヘシ詩大雅無言不酬
無德不報ト云ヘル人ノ一言ヲ受テモ其返

答アルヘシ一事ノ德ヲ受テモ其報ヒナクテハア
ルカラスト云義ナリ口ツカ一言一德サヘ如正
ナレバニシテ忠臣タル人國恩ヲ受ケテ君ニ報
ル志アラサルヘクシヤ

盡忠章第十八

天下盡忠淳化行也 忠有所未盡 君子盡忠則
盡其心小人盡忠則盡其力 君子可以盡謀小人可以效命
盡力者則止其身盡心者則洪於遠 止其身則匹夫之

事洪遠則故明王之理也務在任賢賢臣盡
萬物之利故明王之理也務在任賢賢臣盡
忠則君德廣矣聖無獨理道無常師古之明
則無不盡忠忠則為君政教以之而美君上
聞揚君德由廣大之也臣下所行刑罰以之而
所敷禮樂以之而興君上制作刑罰以之而
清君上恤刑仁惠以之而布君德既備四海
之內有太平音樂至而歌自嘉祥既成告于
上下君臣之始於政能著於群瑞也是故播於
雅頌傳於無窮德施於人務格於神而後行
於樂樂行則何極之有哉

天下ハ廣シ忠ノ道ハ大ナリ忠ノ道天下ニ廣
一レハ貴賤上下トモニ忠アリ不忠ナシ如此
ナレハツクスナホナル政天下ニ行ル其中ニ君
子スル人ノ忠ハ其心ヲ盡ス小人ノ忠ハ其力ヲ
盡ス此ノ小人ト云ハ惡人ノコトニハアラズ才能
ナク位卑キモノヲ云ナリ其小人ノ忠ハ己カカ
ノ及スヘキホトヲ盡スユヘニ唯一身ノ忠ナリ一
身ノ忠トハ君ニ貳心ナク命ヲモ奉ルホトニ

思ヒツムルノミナリ。君子タル人、忠ハ才能アリ
テアルル道理ヲ心ニ具ルニハ君ノ爲國ノ爲
人爲ニ。廣メテ遠方ヘモ施シワタリテ、其忠大ナリ。
然ルニ明王ノ天下ヲ治ルニハ必スツトメテ賢
才ヲユラシメテ政ヲ任スルヲ要トス。賢才アル臣
忠ヲ盡ストキハ君ノ徳天下ニ廣ムルニ如何
トナレハ教ヘ施ス政ウルハシク。禮儀ヲ以テ風
俗ヲヨロシクシ、樂ヲ興シテ人ノ心ヲ和ケ、刑罰

ヲ正シテ法度イサキヨク仁ノ惠ヲ四海ニシキ
トム故ニ萬民太平ノ音ヲ唱ヘテ、日出度福ノ
ミウチツノキエテ上天神下ハ地祇ニテモ感應
ノレルニアリ。如此ナレハ雅頌ノ詩ヲ作りテ、其
徳ヲ言ヒ述テ、千萬歳ノ窮リ無キ後ニテモ
傳フニ雅トシテ政ノ正シキコトヲ詩ニ作ルヲ云フ。
詩經ノ大雅小雅是ナリ。頌トシテ盛徳ヲ褒テ
神明ニニフス詩ナリ。詩經ノ周頌魯頌是ナリ。

後世ニモ詩經ノ雅頌ノ詩ノ體ニ倣テ作レル
詩ヲ公雅頌ト云ナリ此書天子ヘ奏覽スルニ
其時ノ天子忠アル賢臣ヲ用ヒテ政ヲ天下ニ
廣メ天下悉ク其分際ニ應ヒテ忠ヲ盡サハ
四海太平ニシテ雅頌ノ詩ニモノセテ後ノ世ヘモ
傳フヘシト君ヲ祝ヒ世ヲイワフテ日出度書
ト云ナリ

忠經諺解終

忠經諺解跋
夫忠孝者五倫之所叙而
六經之所論也約之ツニヤカニル一書
者曾子嘗侍夫子之間居
然後孝經作焉東漢馬季
長以孝者侯忠成之ストモラ嘆存

文有經而忠之無經然後
忠經十八章作焉門人鄭
玄註解之爾未孝經讀而
孰者尚矣忠經之世遠言
淺シスニテ知前哲作經之旨者斯
也明會稽韓陽因其父言

以孝者忠之原忠者孝之
推與孝經同スレテ孫行于世於
是十有餘載有總馬氏之
志矣一日高木正則氏語
葵軒林子曰吾自幼仕宦
講武而無暇學文方今亦

老抱疾而多閑日。故有志
於繙經史。然自恨無文而
難解。句讀。往年偶得子之
先考羅山先生所著之古
文孝經諺解。而喜自誦之。
且以訓之子。頃日書肆得

忠經之新刻。以恨其難解。
深請子之化諺解也。成則
吾至願足矣。吾想人之為
生。始忠孝而終忠孝。一生
之所為。在之則士人不可
不知之。子身不可不訓之。

忠孝經大書

聞古昔學校之教夫人能
之今則不然故多是幼而
不習白首無成吾竊有嘆
焉且又見世人之遺家者
或貨財或金玉是遺子孫
以禍者也善則武備之森

森文書之堆ナレナリ。雖然子孫
不幹ヨシセ盜則コトナ無益矣。或有
遺ノコス功業於家者或有遺善
言於家者上。遇フコハ不克ヨリセ家之
子孫則遂ニケマス瀆其祖宗之名
無奈何ナモナリ。吾無武備文書

忠孝堂

之可遺者也。無功業善言
之可遺者也。吾家戴累世
之。公恩吾老且疾。固是且暮
之身。而無報酬之秋也。唯
所願以忠孝之兩字將遺

子孫之誠耳。懼其不學不
習。則不得知之。今幸併得
忠孝。諺解而為我家之遺
物。則貨財金玉武備文書
豈足求哉。世人見之為
羞。禮敵帚於吾。則金無遺

五

恨而已。是吾所以深清者
也。子憐察之。則吾家之大
幸也。吾將竦意而覽焉。林
子聞之。壯其言。感其志。數
日而忠經諺解成矣。正則
飲之而不止。告余以跋辭。

之不措。故余諱之。曰忠經
也。士人不可不讀之。而自
古取之者不多。者以不成
於聖人之采也。維然其所
本皆六經之言。則豈可不
讀之乎。今林子有以諺解。

開千載不傳之緒。正則以
為家珍者。其舉ヨイカサ可矣乎。想
夫自忠孝之諺解成。使行
之世。則鬻童。卹女。鄙夫。頑
農。見之不違其理。而當使
斯昏蒙之民。以有知忠孝

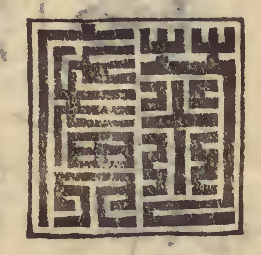
之誠。况學者乎。然則使天
下忠孝之人。能勸其善。天
下不忠不孝之人。能懲其
惡。昭如日星。嚴如雷霆者。
寔二林子之力也。正則之
舉。果夫不ス可ヨカラ哉。積善之餘

世系具書

慶余於正則期之云

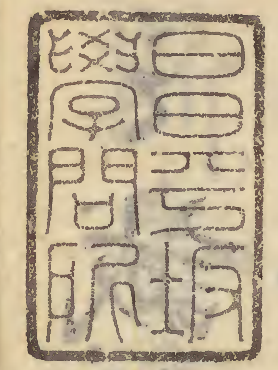
寬文癸卯春三月竹洞散

人金節跋



樋口氏正通請之

寬文五年己八月吉日



Vertical text in the left margin, likely bleed-through from the reverse side.

Left page of the manuscript, mostly blank with some faint markings and a small seal impression at the bottom left.

